



# 学校だより

児童数配付

令和5年4月6日  
清瀬市立清瀬第十小学校  
校長 鈴木 竜二

第1号

## アフターコロナは新時代！？

3月13日からコロナ対策が緩和されて以来、街中でマスクを外して歩いていらっしゃる方を多く見かけるようになりました。長い長いトンネルでしたが、ようやく出口が見えてきた気がします。

このような中、清瀬市教育委員会では、感染症対策と学校運営に関するガイドラインを改訂しました。マスクの着用をはじめ、生活面における様々な配慮事項等の変更について触れています。詳細は、教育委員会のホームページで御確認ください。

そして、本校もこのガイドラインに則って教育活動を進めてまいります。マスクのない生活はコロナ前と同じでも、タブレットパソコンの導入や図書の蔵書の変化などはコロナ前とは違います。特にタブレットは学校教育に多大な変化をもたらしています。オンライン集会、オンライン授業など、これまでできなかった活動を可能にしたことにより、学び方、学ぶ場所、学ぶ内容が広がりました。明らかに時代が前進しているのです。

一方で、早くもこれらの変化に伴う問題点が見えてきました。学習をタブレットに依存することで効率的になっても、学習した内容が充実したわけではありません。調べ学習では、検索したページのコピーで終わってしまったり、画像を取り込んでスライドを作成しても、肝心の内容が薄かったり、子供たちが学んだ気になって終わってしまうような学習が増えました。コロナ前からあったことですが、タブレット導入で、より顕著になった問題と言えます。

そこで、本校は今年度、以下の取組を最重要取組として進めます。

### 協働問題解決的学習を通じた児童の情報活用能力の育成

簡単に言うと、「子供たちが協力して学習を進めていく中で、調べる力やまとめる力、表現する力などを身に付ける。」といった感じです。

また、調べる学習については、図書の活用を重視します。自分が知りたい情報や、分からないことがあるとき、安易にインターネット検索をせず、まずは図書で調べる活動につなげます。そこで集めた基礎的な情報をもとにインターネットでの調べ学習、体験活動などで情報を補ったり理解を深めたりしながら、学習をまとめていきます。

ただ、タブレットパソコンに頼るのではなく、ひと工夫することにより学習の質を大幅に向上させることができるものと考えます。アフターコロナにおける本校の教育活動に御期待ください。

なお、学校経営方針についての詳細は、保護者会でお話する予定です。  
今年度も皆様の御理解御協力のほどよろしくお願いいたします。